

総会速報発行委員会 発行
kyodan-sokai sokuho

第39回

日本基督教団総会

2014年10月28日(火)～30日(木)

速報

No.1

2014.10.28 18:20

第39回教団総会開催

「伝道する教団の建設」

—信仰の一致に基づく伝道の推進—

を主題に



10月28日(火)、ホテルメトロポリタンを会場に、第39回日本基督教団総会が開催された。今総会の主題は「伝道する教団の建設—信仰の一致に基づく伝道の推進—」である。開会時の議員総数は400名中374名。

総会は礼拝から始まり、思いを一つにし賛美と祈りが捧げられ、信仰の一致を確認するかのごとく日本基督教団信仰告白が告白された。説教は「ただ主にのみ望みをおく」と題され、木下宣世牧師(西千葉教会)によりなされた。

その後、組織会、議事日程が承認され、議長、総幹事、常議員会それぞれの報告がなされた。

告した。

その後の質疑は次のようなものであった。改訂宣教基礎理論について、「現行の宣教基礎理論を土台に活動をしていることをどう評価するのか」という問いに対し、「これまでの事柄をすべて否定するわけではないが、現行の宣教基礎理論には反省すべき点があり、特に、何を誰にどのように伝えるのかを明確にする必要がある」と答えた。

「在日大韓基督教会との宣教協約締結30周年記念会」についての厳しい発言に「どう思うか」との問いに対し、「そのような意見がすべてではないと思うが、これまでの在日大韓基督教会が経験した痛みについて重く受け止めなければならない」と

答えた。「教団信仰告白を土台とした信仰の一致を強硬に主張すると逆に分裂が起こるのではないか、そのような経験もある」との問いに対し、「信仰の一致は伝道のために重要であり、教団信仰告白はその要である」と答え、議論は平行線をたどったが、報告は承認された。

続く総幹事報告についての質疑の中で、前総会で会計監査委員として承認された信徒について教規違反が指摘されたが、長崎哲夫総幹事はその点について謝罪し、議場はこの2年間の働きについて承認した。また、教団の様々なところで教憲・教規に則していない部分があるとの指摘がなされたが、今後の精査も必要だと答えた。報告は賛成多数で承認された。

開会礼拝

第39回日本基督教団総会開催にあたり開会礼拝がさげられた。木下宣世牧師(西千葉教会)が「ただ主にのみ望みをおく」(イザヤ書40章27～31節、マルコによる福音書10章23～27節)と題して説教した。以下要旨。

イザヤ書40章の御言葉はよく知られている。力に満ちた御言葉である。遣わされている教会では、9月第2主日礼拝、敬者にちなんで、満75歳になった兄弟姉妹にイザヤ書40章31節の御言葉が記された写真集を贈っている。身体が弱り、痛みや疲れを覚えるようになってくる人

『ただ主にのみ望みをおく』

木下宣世牧師による説教

いと誇っている。しかし、病気になる人たちまちあの御言葉は何だったのかと、御言葉の捉え方がずれてくる。そのような生き方は、本当に主に望みをおいているのだろうか。信仰者の群れである、教会においても同じである。

教会の伝道プロジェクトチームで、これからの伝道をどのようにしたらよいか考え役員会に提出しているが、その根底に、主に望みをおくということをしつかりと意識しているか、考えさせられた。神様のことを忘れていないだろうか、神様を当てにしていけないことがあるのではないか。神を押しつけて、自分たちの力でどうにかしようとしていることを思わせられた。

長い間、ブラジルで聖公会の司祭をしてきたある日本人の言葉を思い起す。「日

本の教会では伝道計画を立てて、成功するように祈るが、伝道の計画を立てる前に神に祈る、神の御心を聞いてから伝道計画を立てていくべきではないか。本当にそうだと思わせられた。

「伝道する教団の建設」においても、本当に神に信頼する、主に望みをおくという信仰が求められているのではないか。

捕囚の民は、その誇りを打ち砕かれ、異教の地で様々な屈辱を受け、困難の中を歩んできた。彼らは解放と祖国への帰還を祈っていたが、落胆し、絶望しかかっていた。

そのような民に向かって、預言者イザヤは、「主なる神は生きておられる。万物の創造主にして、全知全能の神、永遠にいます方、この方に望みをおきなさい。主に望みをおいてよいのだ」と呼びかけている。

私たち日本基督教団も、困難、課題、厳しい現実の中で、ただ主に望みをおいて前進していきたい。

総会速報について

「総会速報」を発行いたします。今回は4号までの予定です。

なお、この「総会速報」は正式の議事録ではありません。拙速ゆえの間違いなどがありましたら、ご容赦ください。

また、この速報はインターネットでもご覧になれます。

URL www.uccj.org